



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「**う**つくくまわりを **え**がおであいさつを **き**ちんとくつならべ」

令和4年度第32号
熊本市立植木小学校
令和4年12月9日
文責：校長清田浩文

秋のファミリー読書特集 その2

秋のファミリー読書の際に、4～6年生の保護者の皆様からも素敵なコメントをいただいていますので、以下に紹介いたします。ご協力、ありがとうございました

- 私が小学生の頃に読んだ本を子どもと一緒に読むことができ、嬉しい時間でした。これからも本と一緒に楽しむ機会をつくっていきたいと思います。
- 娘が借りてきた太宰治の短編集を私も読みました。親子で共通の話題があると楽しいです。これからも読書に親しんでほしいです。
- 夜にテレビを消して、いつもよりも読書に親しむ時間を長くして取り組みました。秋のファミリー読書が終わった後も続けたいと思います。
- 久しぶりに読み聞かせをしました。しっかり聞いてもらえて良かったです。次は、子どもに読んでもらい、私がしっかり聞いてあげるのもいいな思いました。
- 前に読み聞かせをしていた本を読んでもくれるようになり、成長を感じました。本の世界と一緒に入り、登場人物の気持ちになって、自分はどう思ったかを話してくれました。ゆっくり話す時間もつくれて楽しいひと時になりました。
- 夏に続き秋にもこのような機会を設けてくださり、ありがとうございます。この機会に「図書館、久しぶりに行ってみよう！」ということになりました。息子が「スノーマン」と「走れメロス」の2冊を借りて読み、物語を説明してくれました。「スノーマン」の物語の説明を聞いて、皆でクリスマスツリーを飾りました。「走れメロス」の物語の説明を聞いて、私が小学生の時、劇でやったことを話し、読書を通して家族の会話がふくらみました。
- 我が子から読書をしようと言われました。静かに本が読めて、集中もできて良かったと思います。貴重な時間となりました。
- 高学年になるにつれ、帰宅後の時間が塾などに費やされるため、本に向き合う時間がなかなかとれないのが現状ですが、ファミリー読書の期間を設定していただけると、時間を見付けながら読書を楽しめますので、とても良い取組だと思います。私も久しぶりに読みたかった本にふれることができました。本を読むことで「いろいろな想い」に出会えました。

学校教育目標

気づき・考え・実行する、自立と共生の力を備えた子どもの育成
～出会いと出番と対話のある学校を目指して～